

新型コロナウイルス感染(Leo)の対応について 最終ご報告

この度の「出会いの場Leo」における新型コロナウイルス感染症の所内発生について、前回の報告以降の経過と対応を、ここに最終報告いたします。利用者を始めご家族、関係者の皆様にはご心配とご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

2月4日(金)夜に関係者が発熱し、翌日陽性が判明しました。「Leo」と併設している「ぷらっと. 荘島」は、5日(土)から閉所しましたが、利用者やご家族の発熱等が相次ぎ、「Leo」の閉所は5日から12日(土)までとなりました。結果、「Leo」及び併設の「ぷらっと. 荘島」の感染者数は23名となりました。(内訳：利用者6名、ご家族やご兄弟13名、スタッフ2名、ぷらっと2名)

今回の感染発生を受け、以下の対応を実施しました。陰性であったスタッフは、毎日子どもたちの自宅にお弁当や果物、必要に応じて日用品などの配達。また、陽性となったスタッフは、保護者の方と毎日連絡を取りあい、子どもたちの様子や体調の把握。自分たちに今できる事を考え実行し、全員で力を合わせて過ごした隔離期間となりました。私自身も、陽性となりましたが、沢山の皆さまに支えられ、保護者の方々に励まされながら、困る事もなく無事に隔離期間を終える事ができました。皆様のお心づかいに感謝いたします。

「Leo」では、14日(月)より開所し、在宅支援(リモートによる朝の会、電話相談等)に力を入れて進めております。罹患された方については、それぞれの隔離期間やその後の体調を見ながらの登所再開となりました。21日(月)より登所を開始される方が多く、再び子どもたちの賑やかな声が沢山聞こえるようになりました。子どもたちにはリモートによる朝の会に慣れてきた様子が見られ、画面越しにお友達に話しかけたり、一緒に手遊びしたりと、日々色々な発見に接しております。

「ぷらっと. 荘島」につきましては、感染対策を見直しての再開となり、21日(月)から通常通り開所しております。今回の結果を踏まえ、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策を強化するとともに、再発防止策の実施に努めてまいりますので、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。(管理者 溝尻 博子)



(リモート朝の会の様子)



(製作キットを届けました。自宅で制作中です！)



出会いの場ポレポレの現状報告

出会いの場ポレポレでは、感染予防対策を見直し、2月2日(水)より館内のゾーニングや交通公共機関の制限などを実施しています。利用者の方には様々な制限の中、ご負担をおかけすることもあり、大変申し訳なく思っています。

現在、スタッフは、2週間に一度PCR検査を実施し、なおかつ外部との接触も極力減らし、打ち合わせは、電話やオンラインで行っています。また、地域食堂の仕事は、作り手のボランティアさんとコミュニケーションをとりながら打ち合わせを行い、切り込みや盛り込み、会計などそれぞれの作業では、場所や時間をずらしながら分担して継続できる方法を模索しています。活動は、カリブとポレポレの行き来を無くしているため、「〇〇さん元気かな〜」「向こうの班の人に会いたい」などの声も聞こえてきます。制限をかけたり、非日常が続くことに不安もありますが、みんなで乗り越えようとそれぞれ頑張っています。福岡県のまん延防止等重点措置の期間が3月6日まで延長となり、久留米市も未だ新規感染者が多い状況ではありますが、感染状況をみながら公共機関等の制限解除など随時検討していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。(管理者 小川 真太郎)

コロナウイルスワクチン接種(3回目)について

2月21日(月)より随時3回目のワクチン接種が始まっています。今回も、1回目2回目と同様に出会いの場ポレポレは「おごう医院」、夢工房は「野伏間クリニック」のご協力を得て、集団接種を行います。出会いの場ポレポレでは、2月28日(月)と3月(日程は決まり次第お知らせします)の2日間に分けての集団接種、夢工房では3月3日(木)を予定しています。前回同様に接種までの準備などご協力いただくこともありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いたします。